

# 第6学年「社会科」シラバス

6年生ではこんな学習をします

## 学習の目標

国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにします。日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにします。社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、広い視野から考える力、調べたことやかんがえたことを表現する力を育てます。

## 学習の方法

観察や調査・見学・体験などの具体的な活動やそれに基づく表現活動を取り入れることで、社会科を身近に感じ、意欲をもって学習できるように工夫します。我が国の歴史・政治・外交に関わる事象について、予想や話し合いを通じて思考力を深めていきます。地図や統計資料などを効果的に活用し、調べた過程や結果を目的に応じて表現できるようにします。総合的な学習と関連を持たせ活動の時間を十分保証し、前時の学習を振り返るなどして、社会的な知識が身に付くようにします。

## 学習の評価

社会科では、次の観点で評価します。  
 「進んで社会科の学習ができる。」  
 授業への態度、提出物、発表等  
 「社会的事象の意味や関連を考え適切に判断できる。」  
 行動観察、発表、ノート、テスト、ワークシート等  
 「資料を効果的に活用し、調べた過程や結果を目的に応じて表現できる。」  
 新聞、発表、テスト、ワークシート等  
 「社会的事象の役割やつながりが分かる。」  
 新聞、発表、テスト、ワークシート等

## 年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容			
前期 52時間	<b>1 日本の歴史(72時間)</b> さあ開こう歴史の扉を (1)縄文のむらから古墳のくにへ (2)天皇中心の国づくり (3)武士の世の中へ (4)今に伝わる室町文化 (5)戦国の世から江戸の世へ	我が国における歴史上の主な事象について、先人の働きや文化遺産を中心に調べながら、その歴史的意義について考えることができるようにします。また、過去と現在との比較を行うことで、時代ごとの文化の特色についても理解できるようにします。  			
	(6)江戸の文化と新しい学問 (7)明治の国づくりを進めた人々				
	後期 53時間		(8)世界に歩みだした日本 (9)長く続いた戦争と人々の暮らし (10)新しい日本, 平和な日本へ	子育て支援センターの建設を例にしながら、地方公共団体や国の政治についてその働きや仕組みについて理解できるようにします。また、日本国憲法の学習では、憲法の三原則を中心に、その内容や必要性について捉えながら学習していきます。	
			<b>2 わたしたちの生活と政治 (16時間)</b> (1)わたしたちの願いを実現する政治		
			(2)わたしたちのくらしと日本国憲法		
			<b>3 世界の中の日本 (17時間)</b> (1)日本とつながりの深い国々 (2)世界の未来と日本の役割		日本と関係の深い国について調べ、その国の特徴や習慣を知るとともに、国際社会に生きる日本人として異文化理解の大切さやその必要性について学んでいきます。また、国際連合の仕組みや世界で活躍する日本人を例にしながら、世界における日本の役割についてもあわせて学習していきます。
					